



2025年12月期 第3四半期 **決算説明資料**

証券コード 377A

株式会社エージェント・IGホールディングス

2025年11月

1 | 2025年12月期 第3四半期 決算概要

- 1 | 2025年12月期 第3四半期 決算概要
- 2 | 2025年12月期 第3四半期 トピックス
- 3 | 2025年12月期 通期業績見通し

営業収益

9,606百万円前年同期比 **+90.3%**前年同期 **5,049**百万円

営業利益

75百万円前年同期比 **▲53.3%**前年同期 **162**百万円

取扱保険料

1,755億円^{※1}前年同期比 **+26.5%**

25年12月期 3Q内訳
 エージェントIG **474**億円
 FJ **1,280**億円

3Q
ポイント


- ✓ 前期途中からのファイナンシャル・ジャパン（FJ）連結化により営業収益は大幅増
- ✓ 体制強化のための継続的なコスト投下のほか、1Qにおける一過性のコストに等より営業利益は減少
- ✓ 成長戦略のM&A・事業承継、テクノロジー活用におけるコスモアビリティ（CA）との連携のほか、各提携事業など順調に推移

※1 エージェントIGとFJの合算値

お客様の数

法人

26,301社^{※1}前年同期比 **+13.2%**

個人

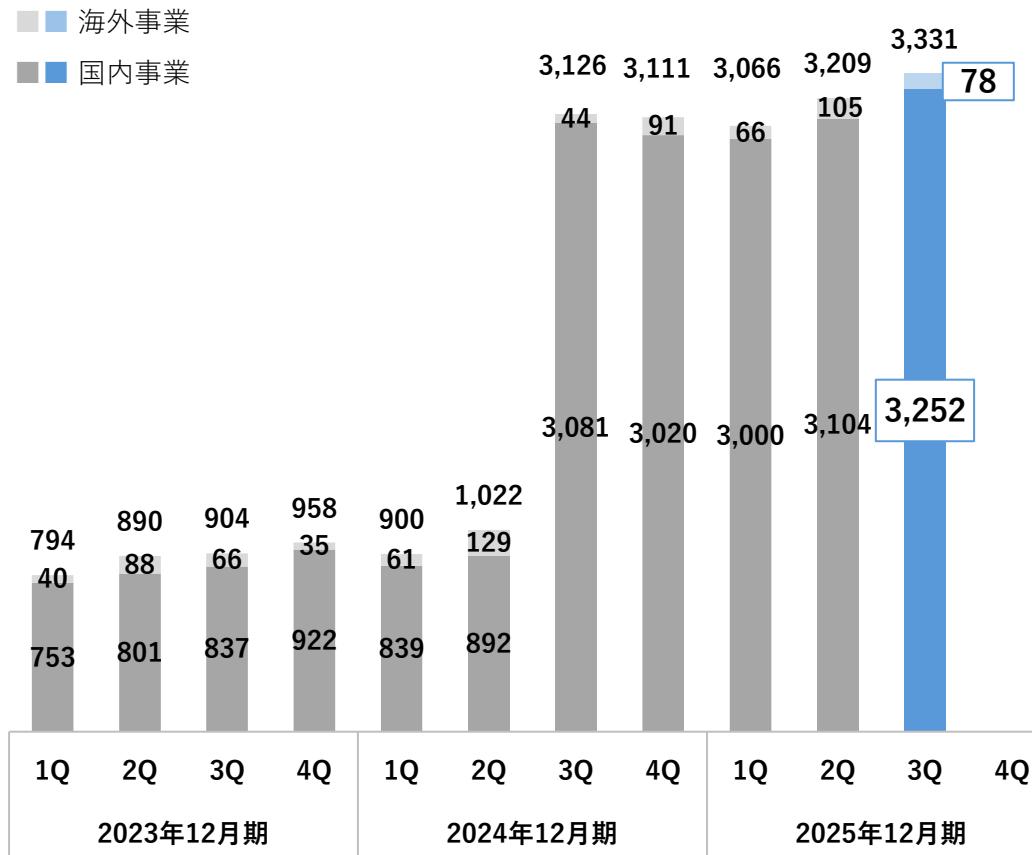
321,661人^{※1}前年同期比 **+7.7%**

- 前年3QよりFJが連結対象に。当3Qは前年と同じ連結範囲となり営業収益の伸びは落ち着くも2倍弱の増加に
- 業務品質及びガバナンス体制強化に向けた管理コストを大幅に投下したことに加え、1Qの国内事業における株式取得や国内子会社移転等の一過性コストが重なり、減益となったものの、営業利益黒字を確保

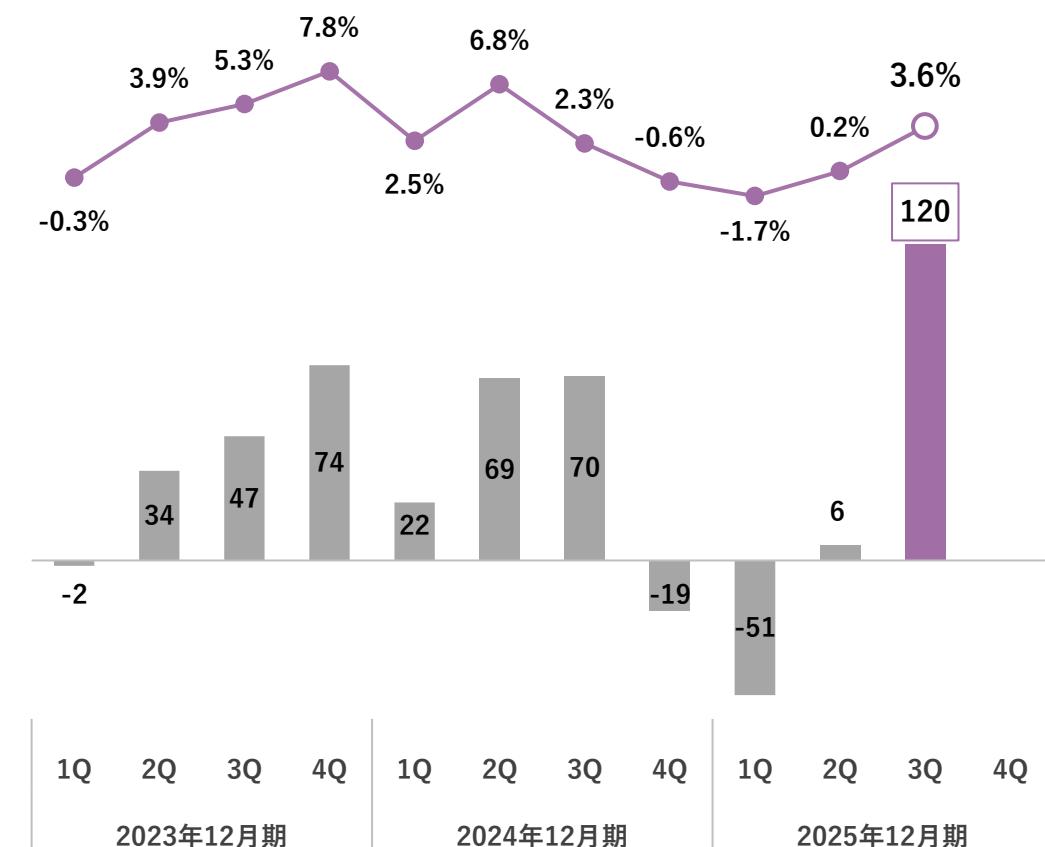
(百万円)	2024/12期 3Q		2025/12期 3Q			
	実績	営業収益比	実績	営業収益比	増減額	増減率
営業収益	5,049	100.0%	9,606	100.0%	+4,557	+90.3%
国内事業	4,813	-	9,357	-	+4,543	+94.4%
海外事業	235	-	249	-	+14	+6.1%
営業費用	4,886	96.8%	9,531	99.2%	+4,644	+95.0%
人件費	1,615	-	2,805	-	+1,189	+73.6%
管理費	3,271	-	6,725	-	+3,454	+105.6%
営業利益	162	3.2%	75	0.8%	△86	△53.3%
国内事業	124	-	51	-	△72	△58.5%
海外事業	38	-	24	-	△13	△36.5%
経常利益	156	3.1%	75	0.8%	△81	△51.9%
当期純利益	85	1.7%	26	0.3%	△58	△69.0%

- 営業収益は四半期ベースで過去最高
- 管理コストは引き続き投下しながらも、3Q期間で営業黒字を積み上げ

■ 営業収益（百万円）

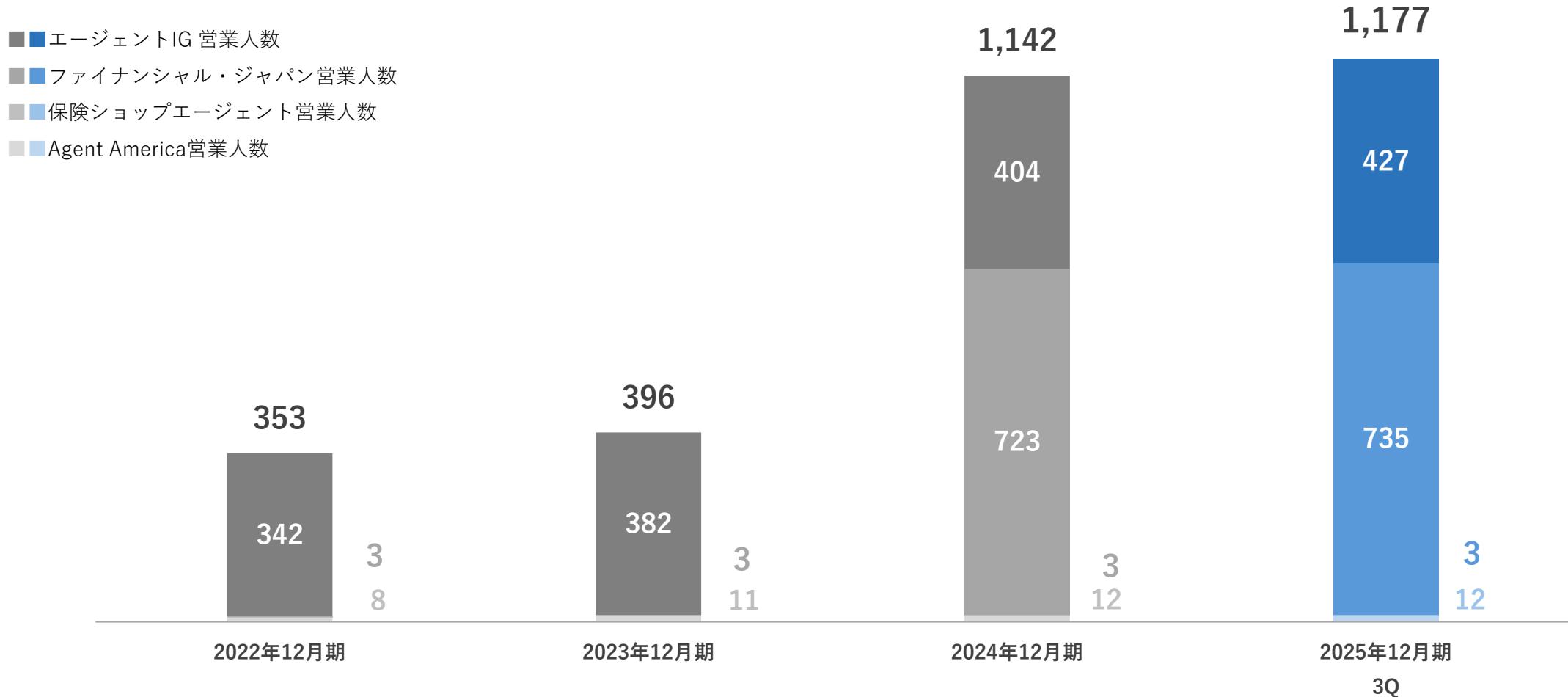


■ 営業利益・営業利益率（百万円）



- グループの収益の源泉となる営業社員数は2024年12月期以降も順調に増加

■ グループ全体の営業社員数 (人)



- 当期は大型案件のほか61件のM&A及び事業承継を実施
- 統廃合の進む保険代理店業界において、今後も積極的なM&A及び事業承継を継続

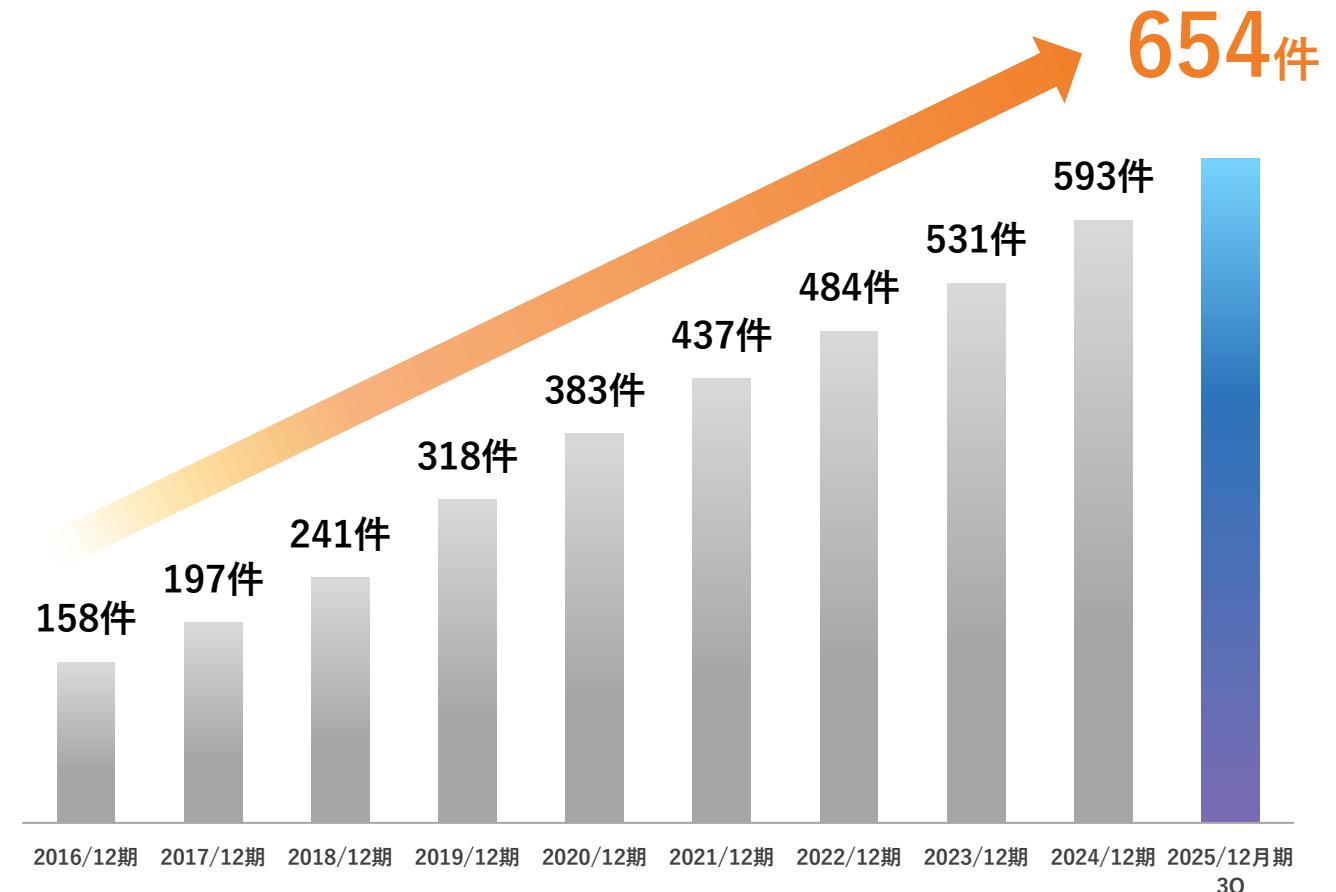
M&A 及び 事業承継戦略

保険代理店の成長や発展を促進

合流代理店件数 **654件**^{※1}

※1 エージェント・インシュアランス・グループが

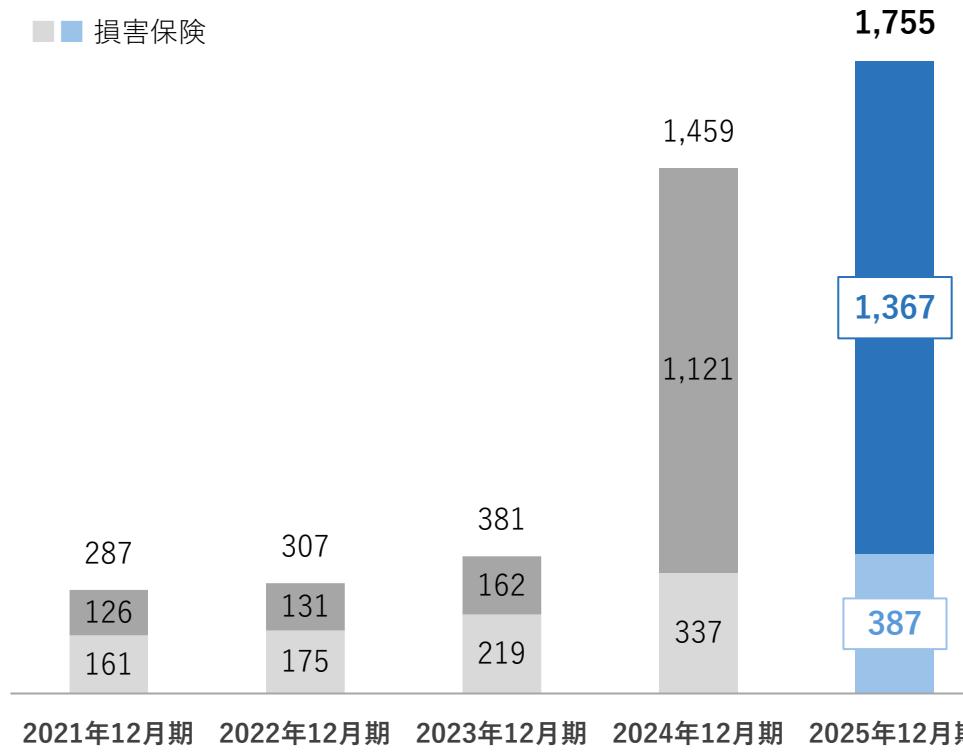
M&A及び事業承継を行った累計件数（2016年1月～2025年9月）



- 前期FJの合流により特に生命保険の取扱保険料が大きく拡大、2025年12月期も順調に伸長
- 合流後は特に個人のお客様数が増加し、顧客基盤は全体で2倍強に成長

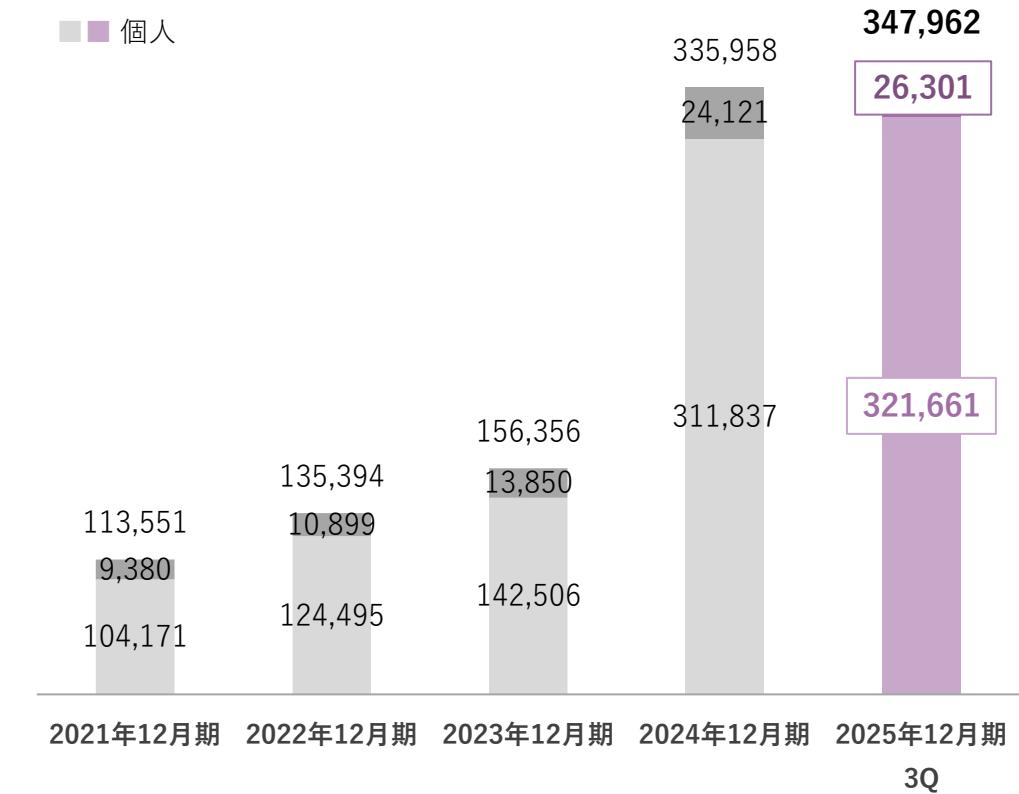
取扱保険料（億円）

■ 生命保険
■ 損害保険



お客様の数（人／社）

■ 法人
■ 個人



※2024年12月期より、エージェントIGとFJの取扱保険料の合算値

※取扱保険料：各年度末時点でお客様から受け取り保有している保険料

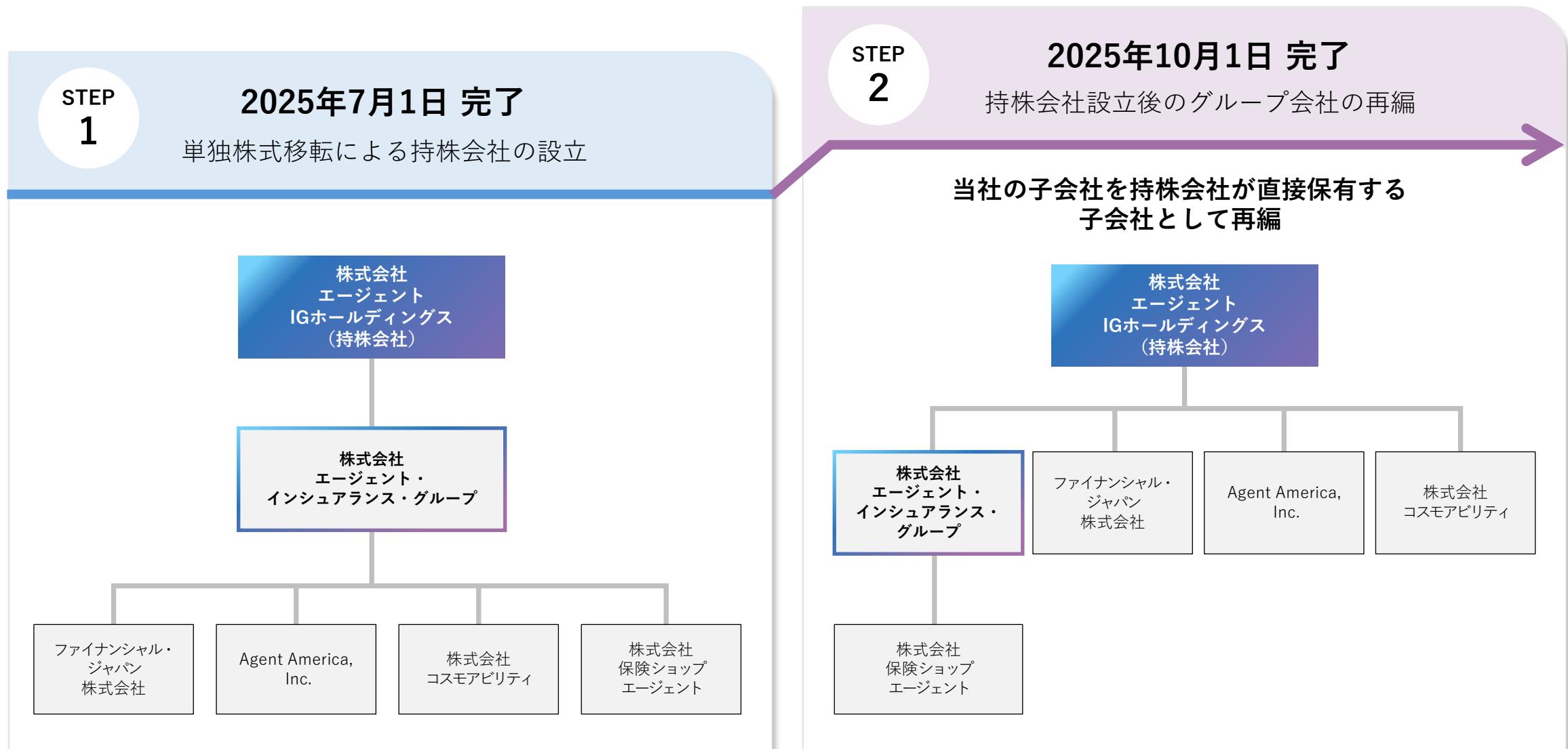
※2024年12月期より、エージェントIGとFJのお客様数の合算値

(百万円)	2024/12期末	2025/12期 3Q末	増減額	備考
流動資産	3,458	3,230	△228	主に現金及び預金が421百万円減少したことによるもの
固定資産	1,749	1,829	+ 79	主に譲受保険資産が47百万円増加したことによるもの
資産合計	5,208	5,059	△148	—
流動負債	2,937	2,923	△14	—
固定負債	962	785	△176	主に長期借入金が174百万円減少（返済）したことによるもの
(有利子負債合計)	1,206	1,028	△177	—
負債合計	3,899	3,708	△191	—
純資産	1,308	1,350	+ 42	主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が26百万円増加したことによるもの
負債・純資産合計	5,208	5,059	△148	—
自己資本比率	24.6%	25.6%	+ 1.0pt	—

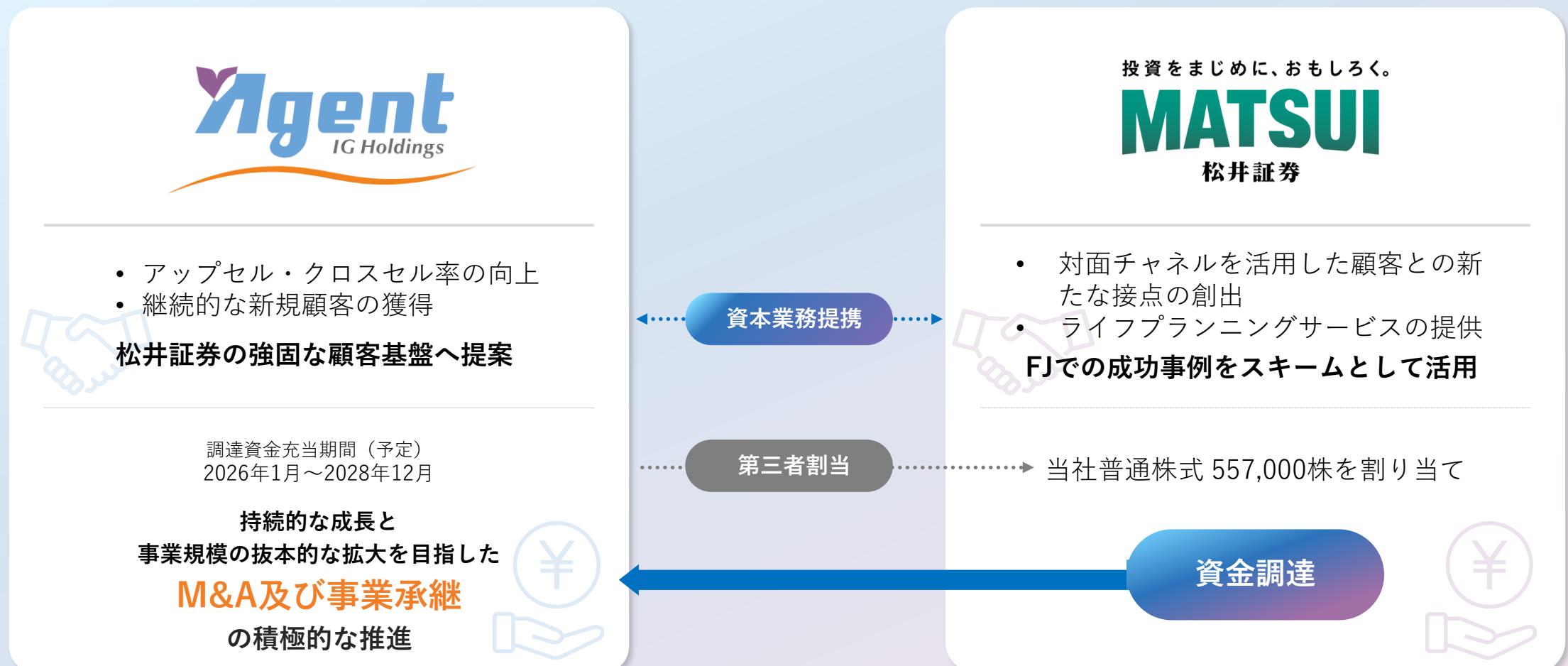
2 | 2025年12月期 第3四半期 トピックス

- 1 | 2025年12月期 第3四半期 決算概要
- 2 | 2025年12月期 第3四半期 トピックス
- 3 | 2025年12月期 通期業績見通し

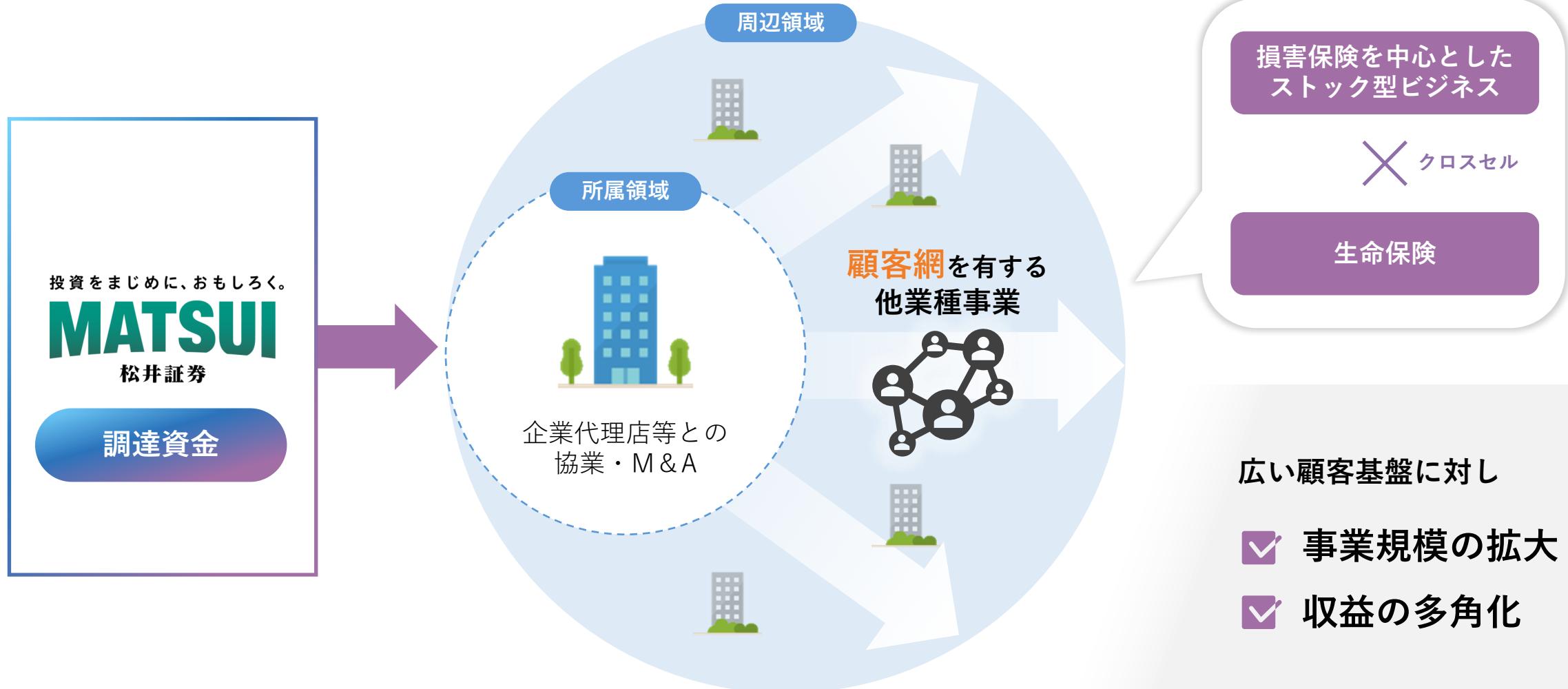
- エージェント・インシュアランス・グループにおける関係会社管理事業等の権利義務を吸収分割により承継



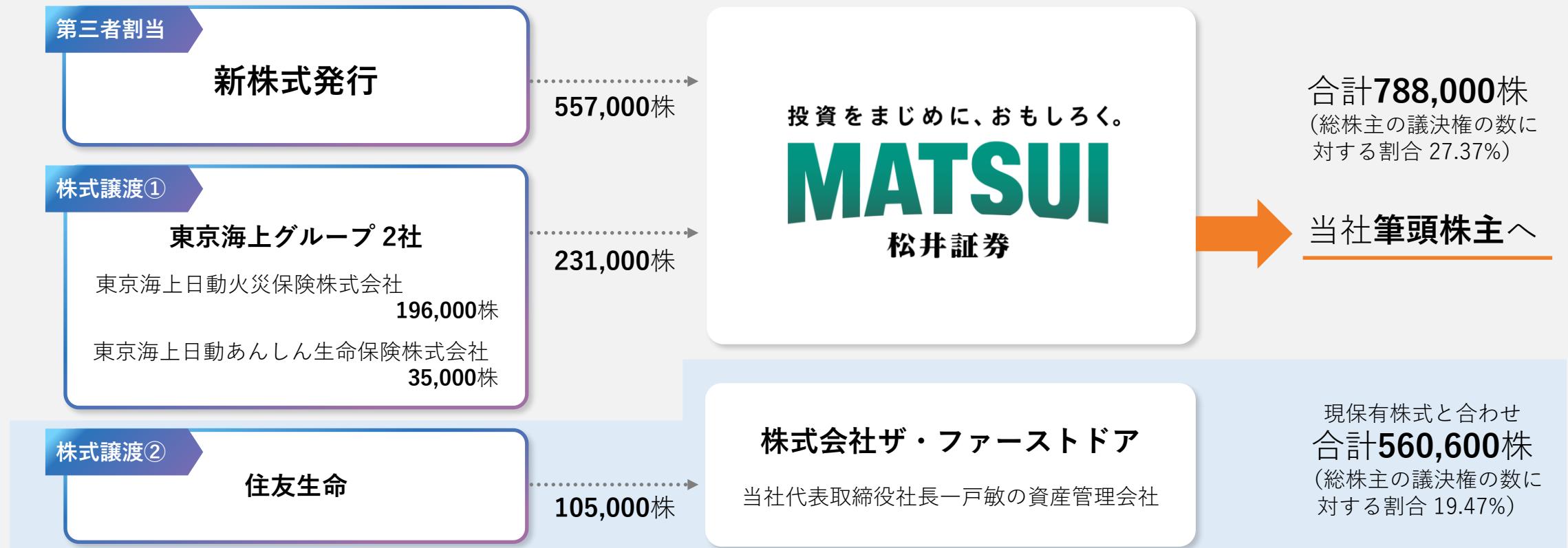
- 両社のノウハウ・アセットを活用し、顧客満足度と企業価値の向上を図る
- 調達資金はM&Aへ充当し、事業規模の拡大を目指す



- 今回の資金調達によりM&A・事業承継をより積極化
- 企業代理店等のM&Aに加え、周辺領域において顧客網を有する企業との協業・M&Aも視野に、顧客基盤の拡大につなげる

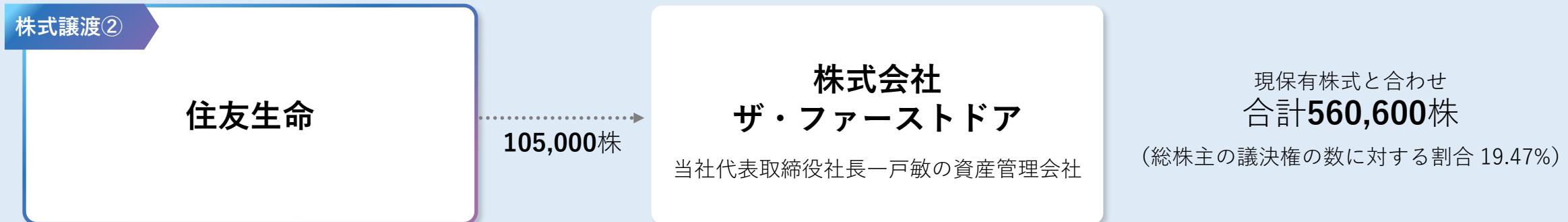


- 第三者割当及び株式譲渡に伴い、当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動が見込まれる



※すべて普通株式

- 保険会社より放出される株式の一部は、代表取締役社長が自ら取得
- 経営陣がリスクと成果を共有する形で事業拡大に取り組み、持続的な企業価値向上につなげる



会社の成長に直接コミットし、
大きな転換期を迎える保険業界の中で力強く成長する

- これまで様々なマーケットホルダーとの連携を進行し、顧客基盤と提供サービスのラインナップを拡充
- 保険プラスαを提供するハイブリッドアドバイザーとしての土台を構築



3 | 2025年12月期 通期業績見通し

- 1 | 2025年12月期 第3四半期 決算概要
- 2 | 2025年12月期 第3四半期 トピックス
- 3 | 2025年12月期 通期業績見通し

- 10月31日に2025年12月期通期連結業績予想の修正を公表
- 営業収益はM&A及び事業承継の拡大により予想を上回る見通し
- 一方、積極的なコスト投下等により、営業利益、経常利益及び親会社に株主に帰属する当期純利益は予想を下回る見通し

(百万円)	2025/12期		2024/12期		
	従来予想	修正予想	従来予想比	前期実績	前期比
営業収益	12,340	12,950	+4.9%	8,161	+58.7%
国内事業	12,000	12,610	+5.1%	7,834	+61.0%
海外事業	340	340	-	327	+4.0%
営業利益	265	120	△54.7%	143	△16.1%
国内事業	250	105	△58.0%	112	△6.3%
海外事業	15	15	-	30	△50.0%
経常利益	255	110	△56.9%	133	△17.3%
当期純利益	140	24	△82.9%	53	△54.7%

- 保険業界を取り巻く様々な課題を背景に、業務の公正性や資本関係の透明性がこれまで以上に求められている。
- 環境変化を前向きに捉え、内部統制の強化やシステム投資、資本関係の見直しにコストを投下し、将来の企業価値向上を目指す

保険業界 大転換点

不正請求や保険料の不適切な調整といった事案への社会的関心が高まるなか、業務の公正性と透明性を徹底することが、持続的な成長の前提条件に

● 業務の公正性の強化

保険金不正請求
・保険料調整行為

● 資本・取引関係の透明性の強化

政策保有株式の縮減



業務プロセスの見直し

内部統制の強化

システム投資

短期的にはコスト負担を伴うものの、中長期的には経営の健全性を高め、持続的な企業価値向上につながる



調達資金を 活用したM&A

持続的な成長と収益性の両立



2025年12月期 第3四半期 決算説明資料

証券コード 377A

株式会社エージェント・IGホールディングス

2025年11月